



# オープンキャンパスの心算

今年も勝負の「夏」を迎えようとしています。「夏を制する者は受験を制す」とよく言われます。夏休みの学習計画を今のうちにしっかり立てておくことが肝要でしょう。

さて、夏といえばオープンキャンパスの時期でもあります。大学や短大、専門学校を自分の目で確かめるチャンスです。パンフレットなどに掲載されていない様々な情報を知ることができますし、大学入試では学部・学科の貴重な情報獲得の場になります。私立短大や専門学校では、オープンキャンパスに参加することによって入試の際に有利に働くところさえ存在します。よく事前に調べておくとともに効果的でもあります。では、どのような点に注目すればよいのでしょうか？

事前 チエック	■所在地	〒 TEL		
	■最寄り駅	線 駅	所要時間 分	交通費 円
	■交通手段	自宅→ ー大学・短大・専門学校		
	■学費	初年度納付金 円	入学金 円	授業料 円
	■入試方式	○	■志望 理由	○
	■受験科目	○		○

参加する前に、以上のような項目を明らかにしておくといでしょう。様々な情報に触れるときに必要な基本情報です。

当日 チエック	以下の項目を3点(満足)・2点(普通)・1点(不満)で評価し、他の志望校と比べてみる	満	普	不
		足	通	満
■アクセス	交通手段や交通費、所要時間などは問題ないか？	3	2	1
■授業	興味のある学問を学べるか？	3	2	1
	魅力的な先生がいるか？	3	2	1
■資格 就職	専門以外にも興味のある授業があるか？	3	2	1
	魅力的な先生がいるか？	3	2	1
	めざす資格( ) が取得できるか？	3	2	1
■施設	就職指導の内容は十分か？	3	2	1
	実績は残されているか？	3	2	1
	インターンシップや留学制度は充実しているか？	3	2	1
■施設	研究室・実験室などの施設は充実しているか？	3	2	1
	図書館などの学習施設・環境は充実しているか？	3	2	1

## 当日チエック

■雰囲気	食堂や運動施設などは充実しているか？	3	2	1
	クラブ・サークル・学園祭などは楽しめそうか？	3	2	1
	学校周辺の雰囲気・環境は？	3	2	1

オープンキャンパス当日は、以上のようなところに注目して情報収集をしていくといでしょう。複数箇所に参加する場合には、比較できるように調べるポイントを同じ基準にしましょう。

大学・短大・専門学校関係者や先輩に聞きたいことを事前に書き込んでおき、その答えをメモしよう！

進学の志望先は様々だとは思いますが、これらは大学・短大・専門学校を問わず調べておくとい項目になります。オープンキャンパスに参加せずとも、このようなことを知っておくだけで志望先を目標とする気持ちは随分と強くなるのではないのでしょうか？

これから勝負の「夏」を迎えるにあたり、モチベーションアップは必須です。特にこれといった進路志望先がない人も、調べるとい行動を起こすことで、思いもよらない「掘り出しもの」が見つかるかもしれません。既に目標が定まってきた人は、その目標をさらに明確にし、「何としても合格したい」とい意欲に繋げてほしいと思います。

## 当面の進路関連行事

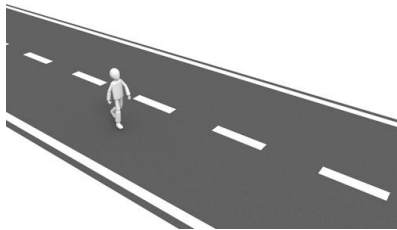
日付	主な進路関連行事
7/2	生徒進学相談会 (於: ホテルニュー種子島) <input type="checkbox"/> 今年度は長崎大学が来島!
7/4	鹿児島大学説明会 (於: 種子高) <input type="checkbox"/> 6学部の先生方及び本校卒業生が来ます
7/9	進路保障統一 LHR (3年)
7/11~12	進研模試 (全学年普通科) <input type="checkbox"/> 自分の実力を評価する模試です。全国40万人の同級生や浪人生との真剣勝負です。
7/21~31	前期夏季課外 (普通科)



# 勉強はおもしろい

「勉強はおもしろい」…生徒の皆さんでどれくらいの方がそう思っているのでしょうか。「勉強はおもしろい」のです。今、思うように勉強できないとか成績が上がらないといった悩みを持っている人たちも、少し立ち止まって考えてみましょう。

日々の生活で勉強して学んだことが役に立っていることは少なからずあると思います。それは教室で学んだことだけではなく、親や祖父母、親戚や地域の方々から教えてもらった生活の知恵も入ります。それも立派な勉強です。教室での毎日の勉強とて人生で役立つことはかなり多いでしょう。人生で起こるいろんな問題を解決するときには、多くの知識を持っているほど余裕を持たせてくれるはず。よくわからないことが出てくれば、それを解決させてくれるものが勉強なのでしょう。また、勉強で得た知識があれば、人生での失敗を防げる場合もあるでしょうし、幸せに生きることを勉強で得た知識が助けてくれるでしょう。つまり、もし今「知る」ということが楽しくなくても、知っている事実や知識が人生においてあなたを助けるときがきっと来ると思うのです。



下の図1は新入社員採用のときに企業が必ず要とするスキルのベスト5です。教科の力といったようなものは出てきません。これらの能力は、継続して勉強することによって高められる「総合力」といってもよいでしょう。先ほど述べたような、人生を豊かにする術を勉強をとおして得てほしいと言っているのです。これは教室の勉強だけでは無理であり、実際の日々の学校生活や家庭・地域での生活をとおして身につけられるものです。日頃の生活における素行や生活態度がいかに大きく影響するのかわかってほしいと思います。

さて、もう一つ伝えたいことがあります。それは勉強することは世

界の子どもたちが望んでいることだということです。次の英文を見てみましょう。

Dear brothers and sisters, we want schools and education for every child's bright future. (中略)

Dear brothers and sisters, we must not forget that millions of people are suffering from poverty, injustice and ignorance. We must not forget that millions of children are out of schools. We must not forget that our sisters and brothers are waiting for a bright peaceful future. (中略)

One child, one teacher, one book and one pen can change the world.

Education is the only solution. Education First.

[訳] 親愛なる少年少女のみなさん、私たちはすべての子どもたちの明るい未来のために、学校と教育を求めます。(中略) 親愛なる少年少女のみなさん、私たちは今もなお何百万人もの人たちが貧困、不当な扱い、そして無学に苦しめられていることを忘れてはいけません。何百万人もの子どもたちが学校に行っていないことを忘れてはいけません。少女たち、少年たちが明るい、平和な未来を待ち望んでいることを忘れてはいけません。(中略) 1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。エデュケーション・ファースト(教育を第一に)。

これはノーベル平和賞を受賞したマララニユスフザイさん(当時16歳)が2013年に国連で演説した最後の部分です。自分の人生が危機に陥ったとき、それを救い、かつ人生の可能性をもたらしてくれる第1のものが勉強であることを、世界の子どもたちは知っているのです。あのエジソンも、小学校3カ月の学歴しかないにもかかわらず、独学と研究を続け、世界の人々の生活を豊かにする「発明王」になりました。ダイヤモンドのような才能も磨かなければ石ころのまま。もしかしたら、世のため人のために、あなたが何かを発明するような人になれるかもしれない。

「勉強がおもしろい」と思える、そんな自分になれば、すごい一生になる…そう思いませんか？

図1

## 企業が大卒者の採用時に重視するスキル

